

令和4年度みどりっちプラン掲載事業の進捗状況について（3月末現在）

1 安心・安全で快適に暮らせるまち

1-1 安心・安全で災害にも強いまち

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1)大規模災害に備え各種防災訓練を実施します（区役所(総務課)、緑消防署はじめ各公所(署))		A
各訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%	・全学区避難所開設訓練を25学区で実施しました。(中止学区:3学区) ・訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合は96%でした。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止の学区がありますが、引き続き1人でも多くの方が防災・減災対策を進めていただけるよう関係機関と連携し、地域特性を勘案した訓練の実施に努めます。
(2)緑区防災フェスタを開催します（区役所（総務課）はじめ各公所(署)）		A
来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 95%	・11月5日(土)に開催しました。 ・来場者アンケートにおいて、「今後も参加したい」と答えた方の割合は96%でした。	11月5日(土)に区役所と各団体に協力いただき開催しました。当日は1,255人と多くの方に来場していただき、防災・減災について啓発しました。
(3)緑区安心・安全で快適なまちづくり協議会を中心としたまちづくりを推進します（地域力推進室、保健センター、緑警察署、緑消防署、緑環境事業所、緑土木事務所）		A
アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95%	12月10日(土)に開催したキャンペーンにおいてアンケートを実施し、「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合は97%でした。	3年ぶりにキャンペーンを実施しました。緑区が安心・安全で快適なまちと感じられるよう他公所(署)や地域住民の皆さまと連携・協力活動を引き続き行ってまいります。
(4)放火されない環境づくりを推進します（緑消防署）		A
放火防止パトロール 2回実施 住宅防火(住宅用火災警報器の設置・交換)に関する相談会 2回実施	・放火防止パトロールを2回実施しました。 ・住宅防火(住宅用火災警報器の設置・交換)に関する相談会を2回実施しました。	名古屋市内で放火火災の件数は減少していますが、緑区内で住宅火災による死者が発生したことから住宅火災防止のための啓発が必要です。住宅用火災警報器が義務となる場所への完全設置を説明・啓発していくことが重要な課題となります。
(5)緑市民病院から特殊詐欺被害の防止について啓発します（緑市民病院、緑警察署）		A
デジタルサイネージによる情報提供の更新回数 年4回	適宜提供を受けることで年4回以上の情報更新を行うことができました。	今年度はデジタルサイネージによる情報提供はもとより犯罪被害防止に向けた特設ブースを設けたり、玄関先にて病院職員と警察官とで合同の啓発活動を行うことができました。

(6)災害時における共助のしくみづくりを推進します(総務課、緑消防署)		A
訓練参加者アンケートで「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%	<ul style="list-style-type: none"> ・総合水防訓練及び総合防災訓練で安否確認訓練を実施しました。 ・訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合は95%でした。 	総合水防訓練及び総合防災訓練の中で避難訓練に合わせて実施しました。引き続き消防署と連携し、各種防災訓練に安否確認訓練を取り入れ、共助のしくみづくりを推進します。
(7)地区防災カルテを活用した地域防災活動を推進します(総務課、緑消防署)		A
地区防災カルテを活用した防災訓練等実施学区 10学区	避難所開設訓練にて地区防災カルテを活用した訓練を22学区で実施しました。	避難所開設訓練に地区防災カルテを組み込み、地域の特性やリスク把握等を実施していただきました。引き続き、各学区の訓練内容のニーズを聞き取りながら、地区防災カルテを活かした訓練内容の充実に努めます。
(8)親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」の開催を支援します(総務課)		B
来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 90%	<ul style="list-style-type: none"> ・5月14日(土)に開催しました。 ・来場者アンケートにおいて、「今後も参加したい」と答えた方の割合は85%でした。 	名古屋みどり災害ボランティアネットワークが主催し、開催運営について支援しました。当日は345の方が来場し、主に子育て世代を対象に自助力向上について啓発しました。
(9)災害への備えを充実するため、普及啓発を推進します(総務課)		A
「防災啓発リーフレット」2,000枚配布	「家庭での備蓄」及び「家具転倒防止」の新しいリーフレットを作成し、2,000枚を配布しました。	デザインを一新したリーフレットを作成し配布しました。引き続き災害への備えについて、リーフレットを活用し普及啓発に努めます。
(10)防災に関する講座を行います(緑生涯学習センター)		A
防災に関する講座、事業の開催 5回	防災に関する講座・事業を5回開催しました。	緑区の関わる風水害の情報や知識、防災・減災のために必要なことを学ぶ講座を開催しました。
(11)災害ボランティアセンターの役割をPRします(緑区社会福祉協議会、総務課)		A
イベントでのPR活動やセンター立ち上げ訓練の実施 年1回	9月4日(日)開催の区総合防災訓練、11月5日(土)開催の区防災フェスタ2022の場にてPR活動を実施するとともに、12月11日(日)に支所においてセンター立ち上げ訓練を実施しました。	区総合防災訓練・区防災フェスタにおいてセンターを設置して来場者にPRしました。また、センター立ち上げ訓練を支所敷地内で実際に机等を設置し、レイアウトや実際の動き等を確認しました。

(12) 消防団員の確保を支援します (緑消防署)		—
—	消防団の個々の勧誘活動に加え、区民まつりや防災フェスタなど、市民が集まる機会を捉えて広報活動を実施しました。	緑区全体の消防団員数は増加傾向にあるものの、減少傾向の消防団も存在しています。署団が連携して当該地域に働きかけを行うなど、個別の取り組みが必要であると考えます。
(13) 区民一人ひとりの防災力の向上を図ります (緑消防署)		A
<ul style="list-style-type: none"> ・戸別訪問による啓発活動 7学区 ・防災教室等による啓発活動 150回 	家具転倒防止対策による家庭の防災力の向上を目的とした戸別訪問を令和元年度より継続しており、今年度時点で「13学区」に対して実施しました。防災教室等による啓発活動は166回実施済みです。	引き続き、家具転倒防止対策の重要性を訴えかけるとともに、緑区内の家具転倒防止ボランティアの方々と連携して、家庭の防災力を向上に関する啓発を行います。防災教室等に関しては各自主防災会の会長を中心にして、これからも啓発活動を進めていきます。
(14) 事業所と地域との支援協力体制を推進します (緑消防署)		A
支援協力に関する覚書の締結 90事業所	締結事業所数が今年度の新規1事業所が加わり、計92事業所となりました。	締結数は年々増加しているが、事業所と地域が連携して訓練等を実施することができていません。有事の際の実効性を高めることができるよう、顔の見える関係の構築を足掛かりとして、段階的に訓練に発展させていくことができるよう働きかけを支援していきたいです。
(15) 災害活動の迅速な対応をめざし、名水協との連携強化を図ります (上下水道局緑営業所)		—
—	名水協と合同で防災訓練を実施し、応急給水活動に関する手順の確認を行いました。	防災訓練を通じて、名水協と災害活動に関する連携を強めることができました。今後も連携を深め、迅速な災害活動につなげます。

1-2 環境にやさしく快適なまち

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区クリーンキャンペーン・なごや2022を実施します (地域力推進室、保健センター、緑環境事業所、緑土木事務所)		A
メイン会場参加者アンケートで、「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合 95%	メイン会場参加者アンケートにおいて、「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合は99%でした。	目標を達成することができました。引き続き、クリーンキャンペーンを通じ、町を美しくする活動を進めてまいります。
(2) 緑区環境バザーを開催します (地域力推進室、緑環境事業所)		縮小
売上品数 1,800点	売上品数は1,060点でした。	新型コロナウイルス感染症の影響で出店団体が減少し、売上品数は目標に届きませんでした。多くの方に来場していただくことができました。今後も環境バザーを通じてリユースの意識高揚を図ってまいります。
(3) 環境デーなごや2022 in みどりを開催します (緑生涯学習センター)		A
参加者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 95%	6月4日(土)に開催し、12人(定員15人/応募数44人)の参加者でした。アンケート回答者12人に対して、「満足」「まあまあ満足」と答えた方の割合は100%でした。	食品ロスのない環境にやさしい調理を、親子で体験する講座の開催をしました。
(4) 地域環境イベントを開催します (緑環境事業所、南東部公害対策担当)		A
参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95%	参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合は100%でした。	参加者アンケートの目標を達成することができました。環境問題について自ら考え、よりよい環境づくりへの具体的な行動のきっかけとなることを目的として今後も地域環境イベントを実施する予定です。
(5) 資源・ごみの分別推進に取り組みます (緑環境事業所)		—
—	日々の収集業務の中で、分別マナーが不十分な場合は、直接指導を行うなどの取り組みをしています。 分別マナーアップ推進月間(6月・11月)に特別巡回を実施し、環境局本庁職員が収集前の地域を回り、分別状況の確認及び啓発品の配布を行いました。	今後も資源とごみの分別徹底を呼びかけ3R※を推進して、ごみ減量をめざしていきます。 ※3R(スリーアール):リデュース=ごみそのものを減らす、リユース=ごみにしないで繰り返し使う、リサイクル=ごみを資源として再利用する。

(6) ペットの愛護と適正な飼育の普及啓発を行います (保健センター)		A
ペットに関する 啓発活動・講座の開催 5回	<ul style="list-style-type: none"> ・犬のしつけ方教室を1回実施しました。 ・巡回パトロールを1回実施しました。 ・安心安全で快適なまちづくりキャンペーンでの啓発を1回実施しました。 ・ペット同行避難啓発を2回実施しました。 	犬のしつけ方教室、巡回パトロールは大高緑地公園にて実施し、ペット同行避難啓発は総合防災訓練、防災フェスタで実施しました。その他の啓発活動として犬の巡回指導を実施しました。

1-3 地域をつなぐ絆づくり

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区区民まつりを開催します (地域力推進室)		A
来場者アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95%	・来場者アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合は98%でした。 ・10月22日(土)に開催し、約21,000人が来場しました。	目標を達成することができました。来年度も、区民の交流の場として、地域に対する愛着心を高められるような内容を企画していきます。
(2) 町内会・自治会への加入を促進します (地域力推進室)		縮小
学区行事や各種キャンペーンでのリーフレット頒布 10回	学区行事やキャンペーンでのリーフレットを6回頒布しました。	学区行事が少しずつ再開したものの、目標には達しませんでした。引き続き町内会・自治会への加入促進のため、周知に努めてまいります。
(3) 緑生涯学習センターまつりを開催します (緑生涯学習センター)		A
来場者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%	11月12日(土)・13日(日)の2日間に開催し、866人(延べ人数)の来館者でした。アンケート回答者248人に対して、「満足」「まあまあ満足」と答えた方の割合は95%でした。	3年ぶりの開催となり、参加団体の皆さまも開催を心待ちにしており、非常に喜んでいただきました。
(4) 徳重地区会館まつりを開催します (徳重地区会館)		B
参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合 95%	参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合は91%でした。	「満足度」95%を達成できませんでした。内容を改善、変更しながら来年度も取り組みます。
(5) 徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します (徳重地区会館)		A
実施事業 10事業	10事業全てを実施しました。	10事業中7事業は募集定員90%以上に達して開催し、アンケートでも概ね好評でした。残り3事業は、ボランティアの協力を得て開催しました。毎月たくさんの方の参加者がいらして、来年度も継続開催を予定しております。
(6) 区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します (東部・緑農政課)		A
ハガキの有効応募件数 400件	ハガキの有効応募件数は408件でした。	今年度は、スタンプラリーの応募に必要なスタンプの押印を、従前の2箇所から応募可能に戻して実施しました。有効応募件数は、目標値を上回ることができました。今後も多くの方に参加していただけるように努めてまいります。

(7)人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進室）		A
人権に関する講座・事業の開催 6回	人権に関する講座・事業を6回開催しました。	「障がい者」・「性的少数者」・「犯罪被害者等」・「同和問題(部落差別)」に関わる人権問題についての講座を開催しました。

1-4 協働によるまちづくり

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 花・水・緑の公園通り推進事業を促進します (地域力推進室)		A
イベントなどでのアンケートにおいて、「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%	アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合は98%でした。	目標を達成することができました。今後も15の部会での活動により花植え・緑化活動の促進を図ってまいります。
(2) 区民プラザにおける区民活動を支援します (支所)		A
案内・見守り活動 1週間あたり 8回	1週間あたり平均8回実施しました。 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、7月15日(金)から10月1日(土)まで活動を休止しました。)	区民プラザで活動中のボランティア団体「みどり区民プラザサポータークラブ」について、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期は、活動休止を余儀なくされました。このような厳しい状況下でも、活動期間中は感染防止対策を取りながら意欲的に活動していました。 今後も、サポータークラブの活動支援を通じて、より快適に利用できる区民プラザを目指していきます。
(3) ボランティア団体の竹林整備事業を支援します (みどりが丘公園事務所)		A
竹林整備 9回	・竹林整備は9回実施しました。 ・体験教室は9回実施しました。(中止: 1回)	今後も竹林整備を進め、来園者が楽しめる里山空間を作りつつ、竹工作などイベントを通し、竹を身近に感じてもらえるように努めていきます。

1-5 便利で住みよいまち

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 道路・公園の整備をすすめます(緑土木事務所)		—
—	<p>桶狭間勅使線、敷田大久伝線、水主ヶ池線で工事を実施しました。 また、みどりが丘公園は合葬式墓地の整備を行いました。</p>	<p>桶狭間勅使線、敷田大久伝線において供用開始後の付帯工事を行い、水主ヶ池線において歩道整備工事を行いました。 令和5年度は水主ヶ池線、古鳴海停車場線の工事等を進めていきます。 みどりが丘公園は合葬式墓地周辺の休憩所等の整備を進めます。</p>
(2) 市街地の整備をすすめます(緑都市整備事務所)		—
—	<p>鳴海駅前では、AB工区において施設建築物の建設に向けて準備を進めるとともに、建物移転を行いました。 大高駅前では、大高駅前土地区画整理事業において、建物移転を行いました。</p>	<p>鳴海駅前では、引き続き、AB工区の施設建築物の建築に向けた準備および用地取得を行ってまいります。 大高駅前においても、早期収束に向けて事業を進めてまいります。</p>
(3) 誰もが安心して利用できる市バスをめざします(交通局緑営業所)		—
—	<ul style="list-style-type: none"> ・乗務員の接客態度及び運転操作の状況を添乗等により把握し、教育・指導しています。 ・発生した事故・運行ミス等の事例と原因について、映像等を使用して全乗務員に周知し、事故・運行ミスの再発防止に努めています。 ・お客さまから頂戴したご意見や賞詞を周知して接客サービスの向上に努めています。 	<p>今後もハード・ソフト両面において、効果が見込まれる様々な取り組みを行い、安全・快適な市バスの運行に努めてまいります。</p>

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

2-1 子どもの健やかな育ちを支えるまち

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1)みどり親育ちのがっこう(子育て講座)を開催します(民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館)		A
各講座アンケートにおいて、「参加してよかった」と答えた方の割合 95%	各講座アンケート(区主催6講座)において「参加して良かった」と答えた方の割合は100%でした。	関係団体の積極的な連携により、多くの講座、講演会を開催することができています。各講座とも参加者から大変講評を得ています。今後も引き続き関係団体と連携して子育ての助けとなる講座を提供するとともに、より参加しやすい講座とするための見直しを進めていきます。
(2)児童虐待を防止します(民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署)		—
—	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な家庭に対して、情報共有・早期対応のため、関係機関による会議を毎月1回開催しました。 11月の「児童虐待防止推進月間」ではオレンジリボンキャンペーンとして、11月1日(火)に区役所職員全員がオレンジ色のマスクを着用するなど区役所全体で啓発活動を実施しました。 児童虐待を事前に防ぐため、親支援プログラム講座を3回開催し、地域子育て支援拠点と協力して子育て講座2回を開催しました。 	<p>関係機関が緊密に連携して支援を行い、各家庭の養育環境の改善をもたらしています。</p> <p>「児童虐待防止推進月間」を中心に児童虐待防止の啓発活動を展開しています。</p> <p>親支援プログラム講座を複数開講するなど、児童虐待を予防する子育て文化の普及啓発も進めています。</p>
(3)多様なニーズに応じた子育てを支援します(保健センター)		縮小
発達心配な幼児と親対象の「子育て教室」の開催 8回	<p>7月4日(月)に実施し、参加者は18組でした。</p> <p>9月26日(月)に実施し、参加者は17組でした。</p> <p>11月7日(月)に実施し、参加者は12組でした。</p> <p>12月5日(月)に実施し、参加者は8組でした。</p>	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加人数を絞った会場とリモートのハイブリッド開催とし、感染が落ち着いた時期に開催しました。
(4)子どもの事故予防・救急法教室を開催します(保健センター)		A
「子どもの事故予防・救急法教室」実施回数 14回140人	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンは20回実施し、参加者は200組でした。 3か月健診は44回実施し、参加者は977人でした。 	地域の子育てサロンや3か月児健診にて開催しています。

(5)子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します (民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館)		A
大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区でのプレーパークの開催 毎月1回 新たな開催候補地区での試行実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区でのプレーパークを毎月1回開催しました。 ・新たな開催候補地区である片平地区でのプレーパークの試行実施を、8月、11月、1月の計3回開催しました。 	プレーパークを定期開催することで、子育て世代、地域住民、民間団体による地域のつながりづくりを進めていきます。 来年度は大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区の4地区での定期開催を実施します。
(6)子ども向けのシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します(緑文化小劇場)		B
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%	<p>来場者アンケートにおいて、「良かった」と答えた方の割合は81%でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月7日(土)に開催したおやこで楽しむファミリーコンサートでは97%でした。 ・9月1日(木)に開催した劇団うりんこベイビーシアターでは100%でした。 ・11月27日(日)に開催したコンテンポラリーダンス発表公演では77%でした。 	2ヶ月間のワークショップを経て実施したコンテンポラリーダンス発表公演は、参加者にとっては満足度の高い事業となりましたが、来場者の「良かった」の割合は目標を下回りました。より親しみやすい公演内容とすることで、今後も継続して実施できる取り組みとしていきたいです。
(7)子ども読書活動を推進します(緑図書館、徳重図書館、保健センター)		中止
—	中止	新型コロナウイルス拡大防止の観点で、密になる状況を避けるため、保健センターでのおはなし会は年度内中止しました。

2-2 人にやさしい福祉のまち

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区地域包括ケア推進プラン2019を推進します (福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関)		—
—	高齢者の孤立防止・見守り推進のための講演会や認知症啓発イベント「認知症ってなあに?2022」を開催するなど、地域包括ケアの取り組みを進めています。また、国立長寿医療研究センターの研究事業「コグニ倶楽部」の実施に協力しています。	引き続き、関係機関と連携して地域のみなさんとともに地域包括ケアの取り組みを進めるとともに、「コグニ倶楽部」の実施に協力します。
(2) 「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します (福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)		A
「緑区あんしんカード」4,970枚配布	「緑区あんしんカード」を、16学区の75歳以上の高齢者のみ世帯や、全学区の新たに65歳以上となったひとり暮らし高齢者等(6,000人程度)に対して、民生委員を通じて配付しました。また、引き続き、ウェブサイトに掲載してより多くの方にご活用いただけるようにするとともに、昼間独居の方などで希望される方には区役所等の窓口でも配付できるようにしました。	「65歳以上のひとり暮らし高齢者」や「75歳以上の高齢者のみ世帯」への配付を令和元年度から順次行い、令和4年度で配付を完了しました。今後は、新たに対象となられる方への配付を行うとともに、配付済の方に効果的に活用いただけるような取り組みを実施します。
(3) 障害のある方が作った製品の販売を支援します (福祉課、支所)		B
展示販売コーナーの設置 330回	展示販売コーナーを区役所待合所やユメリア徳重内にて306回設置しました。また、1月26日(木)にはイオンモール大高にて「みどり福祉の店フェア」を開催し、障害のある方が作った製品の展示販売を行いました。	新型コロナウイルス感染症の影響により、販売コーナーの設置を一部見合わせましたが、感染症対策を取りながら展示販売を行いました。また、地域団体のイベントでの参加記念品や販売にて活用していただくとともに、区内公署においても利用いただきました。今後も、障害のある方が作った製品の販売を支援します。
(4) 障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します (保健センター)		A
講演会、交流会の開催年2回	・講演会は10月31日(月)に実施し、参加者は12人でした。 ・交流会は2回実施し、6月2日(木)は12組、7月7日(木)は7組の参加者でした。	講演会、交流会を実施して、障害児を育てる親のグループ等の活動を支援しました。

(5) あたたく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします (福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)		縮小
シンポジウムの参加者数 200人	11月20日(日)に、「高齢者の孤立防止、見守り推進のための講演会」と題して、講演の他、日頃見守り活動に従事されている方から事例発表をいただきました。 参加者は45人でした。	当日は新型コロナウイルス感染症が再拡大傾向にあったため、参加される区民が少ない状況でしたが、講演会に参加された方の多くから「大変よかった」「よかった」とのお声をいただきましたので、講演会で配布した資料を地域包括ケアに係るwebサイトに掲載し、参加を見合わせた方へも周知を図りました。
(6) 認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします (福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター、国立長寿医療研究センター)		A
新たに若い世代をターゲットとした認知症に関する普及啓発講座の開催 1回	区内の公立高校(2か所)、小学校(1か所)において、認知症サポーター養成講座を開催しました。	受講後に、「困っている人へ積極的に声を掛けていきたい」等の感想があり、若い世代への啓発になりました。
(7) 介護予防に活発に取り組む地域づくりをめざします (保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会)		A
きらきらマン体操の実施回数 15回、参加者数 200人	73回実施し、参加者は1,690人でした。	高齢者サロンやはつらつ長寿、保育園、区役所や保健センター等で実施しています。
(8) 地域支えあい活動を支援します (緑区社会福祉協議会、福祉課、支所、保健センター)		B
地域支えあい事業新規実施学区 1学区	実施に関心のある学区を個別に訪問し、事業への理解や実施内容の説明を行い、来年度からの1学区新規実施が決まりました。	今後は来年度からの実施に向けて、準備等の支援を行っていきます。
(9) 老人クラブへの加入を促進します (福祉課)		—
—	区役所でのモニター放映や広報なごやでの広報を行うほか、CCNet等の広報を活用し、老人クラブの魅力や活動を周知しました。	引き続き、様々な広報媒体を活用して老人クラブの魅力や活動を周知していきます。

<p>(10) 緑区自立支援連絡協議会の活動を通して障害のある方がいきいきと暮らせるまちをめざします (福祉課、民生子ども課、支所、保健センター、緑区障害者基幹相談支援センター)</p>	<p>—</p>	
<p>—</p>	<p>・6部会（日中活動部会・居宅支援部会・児童部会・相談部会・精神部会・強度行動障害部会）合計26回開催し、それぞれ課題抽出や情報共有を実施しました。 ・研修や講演会を合計21回開催しました。</p>	<p>今後も障害に対する区民の理解を深めるため、様々な事業の実施や情報共有に取り組んでいきます。</p>
<p>(11) 「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します（福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター）</p>	<p>B</p>	
<p>参加者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 90%</p>	<p>令和5年1月20日(金)から26日(木)にイオンモール大高にて「ミドリアートフェスティバル」として54作品のアートが展示されました。450人ほどが作品を観賞され、アンケートは「大変満足」「満足」と答えた方の割合は72%でした。</p>	<p>障害のある人が作成したアート展示を行いました。商業施設での開催であったため、障害のある人もない人も多くの方に見ていただくことができました。 また、作品の作成に携わった方は大変満足している様子でした。 今後も障害のある人やそのご家族への理解を深め、障害のある人もない人も共に生きる社会に向けて事業に取り組んでいきます。</p>

2-3 健康づくりができるまち

事業名 (担当)		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 新型コロナウイルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します (保健センター)		中止
巡回指導の実施 対象施設 14か所 (保育園及び幼稚園)	数次にわたる新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止しました。 代替として巡回指導を希望した13施設に対し「新型コロナウイルス感染症予防啓発資料」及び「感染対策にかかる現状確認のためのチェックシート」を提供しました。	当初、夏季に希望のあった施設を巡回し、換気の注意点や消毒すべきポイントなど感染防止にかかる取組状況を確認・指導する予定でした。しかし過去最大の新型コロナ第7波が到来し、可能な限り人的な接触を避ける必要があったことから、感染拡大防止のため中止せざるを得ませんでした。その後も間を置かず第8波も到来し、実施に至りませんでした。
(2) 健康志向のコミュニティづくりをめざします (保健センター)		縮小
ポールウォーキング講座 10回	4～12月:9回実施しました。 (5, 6, 7, 10, 11, 12, 1, 2, 3月各1回実施、9月中止)	新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、9月は中止としましたがそれ以外の月は計画通り実施しました。
(3) 被保護者の健康管理支援事業を実施します (保健センター、民生子ども課、支所)		—
事業終了後に実施するアンケートにおいて、「健康を意識するようになった」と答えた方の割合 85%	被保護者の健康管理支援該当者がいなかったため、実施しませんでした。	今後も特定健診受診後の健康管理支援該当者が発生次第、健康管理支援事業を実施します。
(4) 区民向けロコモティブシンドローム予防教室を開催します (保健センター)		A
区民向けロコモ予防教室の開催 3コース	赤ちゃんと一緒にママの産後エクササイズ:初夏コース (6月15日(水)14人、6月29日(水)2人)、晩秋コース (11月16日(水)6人、12月6日(火)5人) を実施しました。 「福祉会館利用者のためのロコモ予防教室」:10月28日(金)に開催し、12人参加しました。 「保健環境委員会との協働によるロコモ予防教室」:10月21日(金)に開催し、17人参加しました。	計画どおりに実施しました。引き続き、区民のロコモ予防の取り組みを進めます。
(5) 区内各所にスポーツ指導者を派遣します (緑スポーツセンター)		A
実施回数 8回	神の倉コミュニティーセンターで運動指導を1回、桃山子ミニティーセンターで運動指導を6回、伝治山集会所で運動指導を1回実施しました。	保健センターと連携した、ポールウォーキング教室の実施しました。次年度も引き続き開催予定です。

(6) 市民向け健康講座を実施します (緑市民病院)		縮小
実施回数 年4回	感染防止の観点から実施できたのが1回にとどまりました。	参加者は高齢者も多くインターネット上や他の会場ではなく通える病院内での開催希望が多い中、感染症対策を考慮した事で残念ながら1回の実施となりました。

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にすまち

3-1 魅力の発信と観光推進

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区の魅力を発信します（地域力推進室）		A
観光PRキャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度95%	キャンペーンで実施した各種アンケートにおいて、緑区の様々な魅力に関する認知度は99%でした。	目標を達成することができました。今後も緑区あちこちマップの活用やガイドの技術向上などに努め、緑区の観光推進にしっかり取り組みます。
(2) 「みどりっち」を活用して緑区をPRします（地域力推進室）		B
アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合95%	キャンペーンにおいてアンケートを実施し、「みどりっち」を知っていると答えた方の割合は91%でした。	新型コロナウイルス感染症の影響により、みどりっちと触れ合う機会も減少したため目標は達成できませんでしたが、引き続き、みどりっちを活用して緑区をPRするよう努めてまいります。

3-2 歴史・伝統の継承

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 歴史文化交流支援事業を推進します（地域力推進室）		A
参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95%	歴史散策会などのイベントで実施した参加者アンケートにおいて、「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合は97%でした。	目標を達成することができました。今後もより多くの方に緑区の歴史に触れていただけるよう努めます。
(2) 区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）		A
緑区の特徴を活かした講座の開催 6講座	緑区の特徴を活かした講座を6講座開催しました。	桶狭間の戦いにおける進軍ルートをたどる講座や、江戸時代後期に大高で伝わる「とうたけめし」を親子で作る講座を開催しました。
(3) 伝統野菜である「大高菜」の普及やPRを図ります（東部・緑農政課、緑生涯学習センター）		A
大高菜の種子配布 800人	大高菜の種子を890人に配布しました。	広報なごややSNSでPRし、緑区役所や支所等の窓口で配布するとともに、区内の小中高校等へも配布しました。今年度もご好評をいただき、目標としていた数量の種子を配布することができました。今後も大高菜の普及・PRに努めてまいります。

3-3 文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区民美術展を開催します（地域力推進室）		A
来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 96%	来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合は98%でした。	出品数は前回比減少しましたが、審査員からは作品のレベルの高さを指摘する声があり、来場者からの美術展に対する評価も非常に高かったです。今後も、芸術への関心を深めていただけるよう、美術展の周知に努めてまいります。
(2) 緑区民舞台発表会を開催します（地域力推進室）		B
来場者アンケートで「出て良かった」と答えた方の割合 90%	出場者アンケートで「出てよかったと思った」と答えた方の割合は86%でした。	今年度は初めて「みどり一むステージ」と銘打って開催しました。満足度は目標数値にわずかに届きませんでした。出演団体数・観客数はコロナ禍前の水準に戻り、大変賑やかな発表会となりました。引き続き発表会の開催を通じ、区の文化振興を図ってまいります。
(3) 緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）		B
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%	来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合は92%でした。	3年ぶりの有観客での開催となりました。コロナ前と比べ出演団体数は減少しましたが、来場者数は増加しました。今回は飲食の提供、フリーマーケットの実施などにより、さらなる賑わいを創出したいです。
(4) 地域劇団「劇団みどり」の活動を支援します（緑文化小劇場）		B
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 75%	・10月15日（土）に本公演を開催し、入場者は275人でした。 ・来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合は73%でした。	目標には届かなかったですが、昨年度に比べ「良かった」の割合が6%上昇しました。今後も公演を鑑賞した人が「参加したい」と思えるよう、初心者でも親しみやすい演目に取り組みたいです。
(5) 生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進室）		縮小
スポーツ大会の総参加者数 3,600人	スポーツ大会の総参加者数は2,614人でした。	新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念する動きもあり、参加者が減少しました。引き続き、より多くの方に参加していただきやすいスポーツの普及および大会の開催を検討してまいります。

4 親しまれ信頼される区役所づくり

4-1 快適に市民サービスの提供

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 広報・情報提供の多様化を図ります（地域力推進室、総務課、企画経理室）		
—	【地域力推進室】 多様な媒体を利用した情報発信に積極的に取り組みます。広報なごや区版の分かりやすい紙面づくりに取り組みます。	今後もウェブサイト、SNSなどを活用し、より多くの方に緑区の情報を知ってもらえることができるよう努めてまいります。
—	【総務課】 防災イベント等について広報なごや、ホームページ、フェイスブック等に掲載し、事業の広報を図ります。	各種広報媒体を活用し、様々な世代の方にお知らせできるよう引き続き広報を行ってまいります。
—	【企画経理室】みどりっちプランの内容等をホームページに記載し、事業の広報を図りました。 区役所などに設置した行政情報ディスプレイにおいて、みどりっちプランの広報をはじめ、緑区独自の広報を9件放映しました。	今後も、区民ニーズに即した独自の情報を提供できるよう努めます。
(2) 新型コロナウイルス感染症対応に全力で取り組みます（区役所（総務課）、支所）		
—	9月に自動水栓型の手洗い器を導入しました。また、受付カウンターやアクリルパーテーションの消毒、こまめな換気を行うなど感染拡大防止に努めています。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に努めます。
(3) 区役所、支所に無料Wi-Fiを設置します（区役所（総務課）、支所）		
—	5月に区役所1階市民課・保険年金課待合スペース、支所3階待合スペースに無料Wi-Fiを設置しました。	引き続き、来庁者サービスの向上に努めます。
(4) フロアサービスを実施します（区役所（総務課）、支所）		
—	通年で窓口案内などを行っています。	引き続き、来庁者サービスの向上に努めます。

(5) 日曜窓口を実施します (総務課、市民課、民生子ども課、福祉課、保険年金課、支所、税務窓口)		—
—	毎月第1日曜日及び4月第2日曜日に8時45分から正午まで行っています。 ただし、4月第1日曜日及び3月最終日曜日は8時45分から14時まで時間を延長して窓口業務を行っています。	引き続き、区民サービスの向上に努めます。
(6) お誕生オリジナルお祝いカードをプレゼントします (市民課、支所)		—
—	令和4年4月～令和5年3月で1,915枚 (区役所1,125枚、支所790枚) をプレゼントしました。	来年度も出生届を提出されたお客様へ「お誕生お祝いカードプレゼント事業」を実施します。
(7) 「更生保護サポートセンター みどり」の活動を支援します (総務課)		—
—	更生保護活動の拠点となるサポートセンター (新型コロナウイルス感染症の影響により、当面の間、月～金 10～13時) について、事務局としてサポートを行っています。	更生保護活動が円滑に進むよう、事務局として引き続き支援してまいります。
(8) 区民意見を区政に反映させます (企画経理室)		B
区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合70%	区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合は63%でした。	アンケート回答数が昨年度を下回り、目標値についても達成することができませんでした。区政運営方針の取り組みについてより満足度が高まるよう、努めてまいります。

4-2 区役所機能の強化

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 職員の災害対応能力を伸ばします（総務課）		A
アンケートで「理解が深まった」と答えた職員の割合 90%	<ul style="list-style-type: none"> ・全学区避難所開設訓練を25学区で実施しました。（中止学区：3学区） ・アンケートにおいて、「理解が深まった」と答えた職員の割合は93%でした。 	新型コロナウイルス感染症の影響により一部訓練が中止となりましたが、職員の災害対応能力及び危機管理意識の向上を目指すため、アンケートの結果を踏まえて、引き続き実効的な訓練に取り組みます。
(2) 職員の業務遂行能力を伸ばします（総務課、企画経理室）		A
アンケートで窓口対応に「満足」と答えた方の割合 97%	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修、接遇研修等の実施しました。 ・アンケートで窓口対応に「満足」と答えた方の割合は98%でした。 	引き続き窓口対応にご満足いただけるよう努めてまいります。